

OLIS-早稲田大学保険フォーラム アンケート集計

日時:2026年6月27日(土) 13:00~17:00

場所:ZOOMオンライン

参加者:62名

■ アンケート集計(回収総数 24)

早稲田大学	学部学生	2
	大学院生	7
	卒業生	0
その他大学		8
その他		7

早稲田大学生の内訳

	1年	2年	3年	4年
基幹理工学部 応用数理学科	0	1	0	1

早稲田大学大学院生の内訳

	1年	2年
会計研究科 アクチュアリー専門コース	3	0
基幹理工学研究科 応用数理学科 数学応用数理専攻	0	3

■ この行事を何で知ったか

掲示(ポスター)	2
大学のホームページ	3
大学の授業で先生から聞いた	9
日本アクチュアリー会のホームページ	4
OLISのホームページ	3
友人から聞いた	0
その他	3

■ 参加した理由は

保険フォーラムに興味があった	11
保険業界のキャリアパスに興味があった	10
アクチュアリー資格と仕事に興味があった	14
保険/金融業界を目指している	9
講師の話が聞きたかった	9
卒業生の話が聞きたかった	0
先生に勧められた	2
友人に誘われた	0
その他※1	3

※1 フォーラムのテーマ、データサイエンスに関心があったから 等

■ プログラムの満足度

	A	B	C
講演①	23	1	0
講演②	21	3	0
講演③	22	2	0
講演④	24	0	0
パネルディスカッション	19	5	0
全体	24	0	0

コメント

- ・AI時代におけるアクチュアリーの内り方とは、本質的なところはこれまでと変わらず、むしろAIが発展することによりできることが増える分、業務の高度化が今後さらに求められていると総括しました。こういったことを踏まえて専門職としてのアクチュアリーの価値を維持・向上をしていくには更なるスキルのブラッシュアップを図らなければ取り残されてしまうのではないかと感じました。
- ・アクチュアリーとAIの未来について考えるとても良い機会になりました。アクチュアリーの業務がAIに今すぐ全て代替されるということはなく、アクチュアリーという専門職団体全体として、むしろAIを活用しながら業務効率化や新ビジネスの開拓を目指すことができるという議論だったかと思ひます。しかし、AIを使いこなすアクチュアリーがそうでないアクチュアリーの立場を奪うというシナリオは現実的であるという話もあり、今後情報収集やスキル獲得に努めていきたいと気持ちを新たにしました。
- ・私自身と異なる視点も多く、大変勉強になりました。

■ 今後どのようなスタイルのプログラムを希望するか

セミナー形式	10
フォーラム	17
講演	13

■ 今後どのような内容のプログラムを希望するか

保険の基礎	6
保険会社/業界の概要	10
金融一般	9
アクチュアリー資格	5
保険業界へのスキルパス	12
その他※2	5

※2 今後の環境変化を踏まえたアクチュアリーのキャリアについて
AIの実用例 等